

大阪・関西万博「とくしま活性化・魅力創出」方針 **コンセプト**

万博は「ゲートウェイ」、徳島「まるごとパビリオン」～県民が参画し、県民が創る万博～

関西パビリオン内「徳島パビリオン」出展計画 基本計画 P9～22

基本的な考え方

万博会場において「人・モノ・コト・情報」の流れを迎え入れる徳島への「ゲートウェイ機能」を発揮し、多様な知恵や技能が集い循環する持続可能な徳島をめぐる旅「S（Sustainable）-T R I P」の紹介を地域・時間軸で展開

テーマ

G A T E W A Y（ゲートウェイ）

～ to Tokushima, to Sustainable Future ～

目標

徳島パビリオン展示 約 1 3 0 ㎡

1日・約2,300人×184日＝約 4 2 万人（最大）

ターゲット

- ▶ファミリー（子供を中心に魅力発信と参画機会の創出）
 - ・ 航空機利用者（東日本、九州等）

コンテンツ

【いのち・働き・にぎわいを創造！未来技術のショーケース】

- ・ pLEDによる空中タッチの技術等、次世代「光」を活用した展開
- ・ 8K医療、スマート農林水産業、i-Construction等の遠隔体験
- ・ AR・V Rなどの技術と各自のデバイスを活用した地域コンテンツ体験展開
- ・ 世界初リアルタイムV S R等の技術を活用したバーチャル観光体験

【地球に優しいSDGsライフスタイルの提案】

- ・ 阿波藍、県産材の活用等、徳島に息づく伝統文化と暮らしを感じる会場展開
- ・ 水素グリッド、ゼロウェイスト等、地球規模の課題に対応する未来を体感
- ・ 産地直送の県産品とストーリーの発信による食・物産の発信展開
- ・ 食用コロボキの活用等とテクノロジーによりSDGs達成に貢献する新たな「食」の体験

【リアル×バーチャル×未来技術によるシナジー展開】

- ・ 徳島の多彩な地域の特色を発信する季節に合わせた企画展の展開
- ・ 催事スペースを活用し展示や他パビリオンとの連携催事の実施
- ・ メタバースを活用した「徳島パビリオン・デジタルツイン」によりあらゆる主体が参画するインクルーシブ展開

【展示の体験構成】

「S-TRIP」を体験コンセプトに、徳島が育んできた伝統から今（リアルタイム）、そして、「人・モノ・コト・情報」が循環することで実現させていく「サステナブルな未来」を表現

徳島パビリオン展示レイアウト・コンテンツ（別添）

徳島「まるごとパビリオン」（全県展開）計画 基本計画 P23～34

基本的な考え方

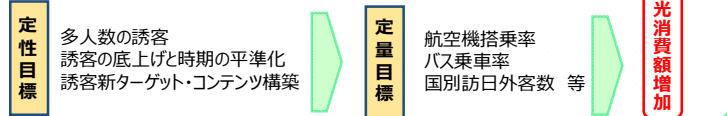
徳島の「人・モノ・コト・情報」が「まるごと」コンテンツであるとのコンセプトのもと、古くから来訪者を迎えてきた「四国の玄関口」としての進取の気質を発揮し、「くら」と「自然」を持続可能とする気付きを得る「S-T R I P」を全県展開。そして、「サステナブルツーリズム」といって徳島としてのレガシーを創出

テーマ

多様な人々をSDGsでおもてなしする『お接待』文化・徳島をまるごと体感

目標

【基礎指標】 宿泊者 2 3 0 万人 + α 海外 1 0 万人 + α



ターゲット

- ▶ビジネス（SDGsに関心が高い層へのアプローチ）
 - ・ 航空機利用（東日本、九州等）
 - ・ M I C E・教育旅行を含む
 - ・ バス利用（関西・中四国等）

コンテンツ

【未来・新技術の実装フィールド】

- ・ 徳島発！未来技術「Beyond 5 G」関連技術を実装・実演
- ・ 高等教育機関による科学体感フェスティバル
- ・ 「水素グリッド構想」による水素・脱炭素関連施設への誘客促進
- ・ 「キュウロボット」など新滞在コンテンツとアワーケーション多面展開による長期滞在促進
- ・ D M Vによるオリジナル移動体験のコンテンツ化

【進取の気質に富む観光・ビジネス展開】

- ・ とくしま「まるごとマチ★アソビ」として、県内全体で関連イベントを開催
- ・ 阿波人形浄瑠璃、神代踊りなどあわ文化、無形遺産などの総合文化フェスティバル
- ・ 県内事業者と全国からの出展者が集まる「食の博覧会」の開催
- ・ 万博をフックとした国際会議や教育旅行の誘致・開催

【SDGsが息づく徳島発のライフスタイルの体験】

- ・ 徳島の強みを活かした「サステナブル・ツーリズムの実装」と「新たな観光プランディング」
- ・ SDGsに取り組む産地や生産者を巡るSDGs農村生産者体験ツアー展開
- ・ 生産から消費までSDGsの視点による阿波ふどう体感の場の展開
- ・ ベジタリアンやハラールなどに対応した飲食店拡大など、フードダイバーシティの展開

【リアル×バーチャル×未来技術によるシナジー展開】

- ・ 新たな海上交通や「とくしま a a s 構築」による安心、快適、簡単周遊
- ・ 「とくしまバーチャルパビリオン」の全県展開や企業バーチャル見本市による「インクルーシブ万博」実現

【誘客に向けた展開】 挙県一致体制で徳島県を 1 8 4 日間楽しむ「まるごとパビリオン」化

- ・ 旅行会社への営業等により訪日外国人を誘導する「E X P O 旅行商品」の造成
- ・ BtoB、BtoCの各種特典を設定する「まるごとパビリオン・インセンティブ」の造成
- ・ 多彩な取組を「まるごとパビリオンコンテンツカレンダー」として展開（別添）
- ・ コンテンツの「ターゲット別」整理とアクセスの整理（別添）

機運醸成・魅力発信計画 基本計画 P35～39

基本的な考え方

多様な知恵・技能が集い循環する「S-T R I P」の目的地として、SDGsをはじめとする取組を加速するとともに、世界中からの来訪者を迎えるため、先行した情報発信を展開

テーマ

“県民が参画し、県民が創る万博”として徳島で生かされる「自然」、「人・モノ・コト」が「まるごと輝く」発信展開！

目標

- Webサイトへのアクセス数
- 機運醸成等の取組への参加人数
- 話題性やSNSでの投稿量など盛り上げの指標を関連事業のKPIとして設定

ターゲット

- ▶インバウンド（長期滞在者への発信）
 - ・ 訪日団体旅行 → 東アジア
 - ・ MICE, 出展関係者
 - ・ FIT（海外個人旅行）→ 欧米

コンテンツ

【共に生き、共に創る“県民総活躍の万博”としての機運醸成】

- ・ 万博を契機とした徳島発ビクトグラム等による街全体を装飾するシティドレッシング
- ・ 食文化のコラボやナショナルデー連携など徳島版ホストタウン展開
- ・ 来訪者を受け入れおもてなしを続ける人材の育成

【万博を機に世界へ！「持続可能な未来社会」へ挑み続ける徳島の発信展開】

- ・ 次代の情報コミュニケーション基盤「メタバース」による先行した魅力発信
- ・ 伝統を守り、引き継ぐ地域の“人”のストーリーを魅力として情報発信
- ・ ワンストップ型ポータルや万博会場、SNS等による網羅的な発信展開

【リアル×バーチャル×未来技術によるシナジー展開】

- ・ 阿波おどり、アニメ等、多彩なコラボの「とくしまバーチャルパビリオン」展開
- ・ 「メタバース内コンシェルジュ」をはじめ多様な人材の雇用機会の創出
- ・ 万博本体のシグネチャーパビリオンなどと連携した展開

徳島「まるごとパビリオン」資金計画 基本計画 P40

徳島パビリオン、催事において特典を提供する協賛の仕組みを構築。

【サステナブルスポンサーシッププロジェクト】

徳島パビリオンにおいて展開する展示物等の提供などの「協賛システム」を構築し多彩な主体が、協賛品の提供のみではなく、「制作→展示→帰郷」というプロセス自体に参画し、万博・徳島双方向での価値の循環を創出するプロジェクトを展開

徳島「まるごとパビリオン」事業推進計画 基本計画 P42

関西パビリオン建築計画の概要

【昼間（遠景）】



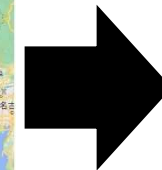
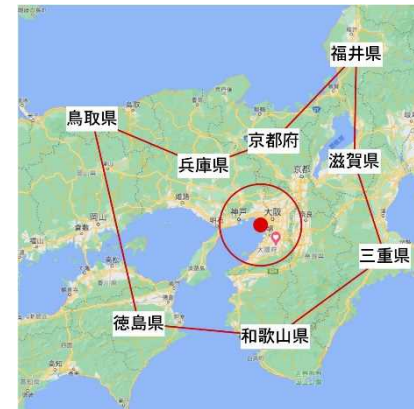
【内部（エントランス）】



【夜間（鳥瞰図）】



【内部レイアウトイメージ】

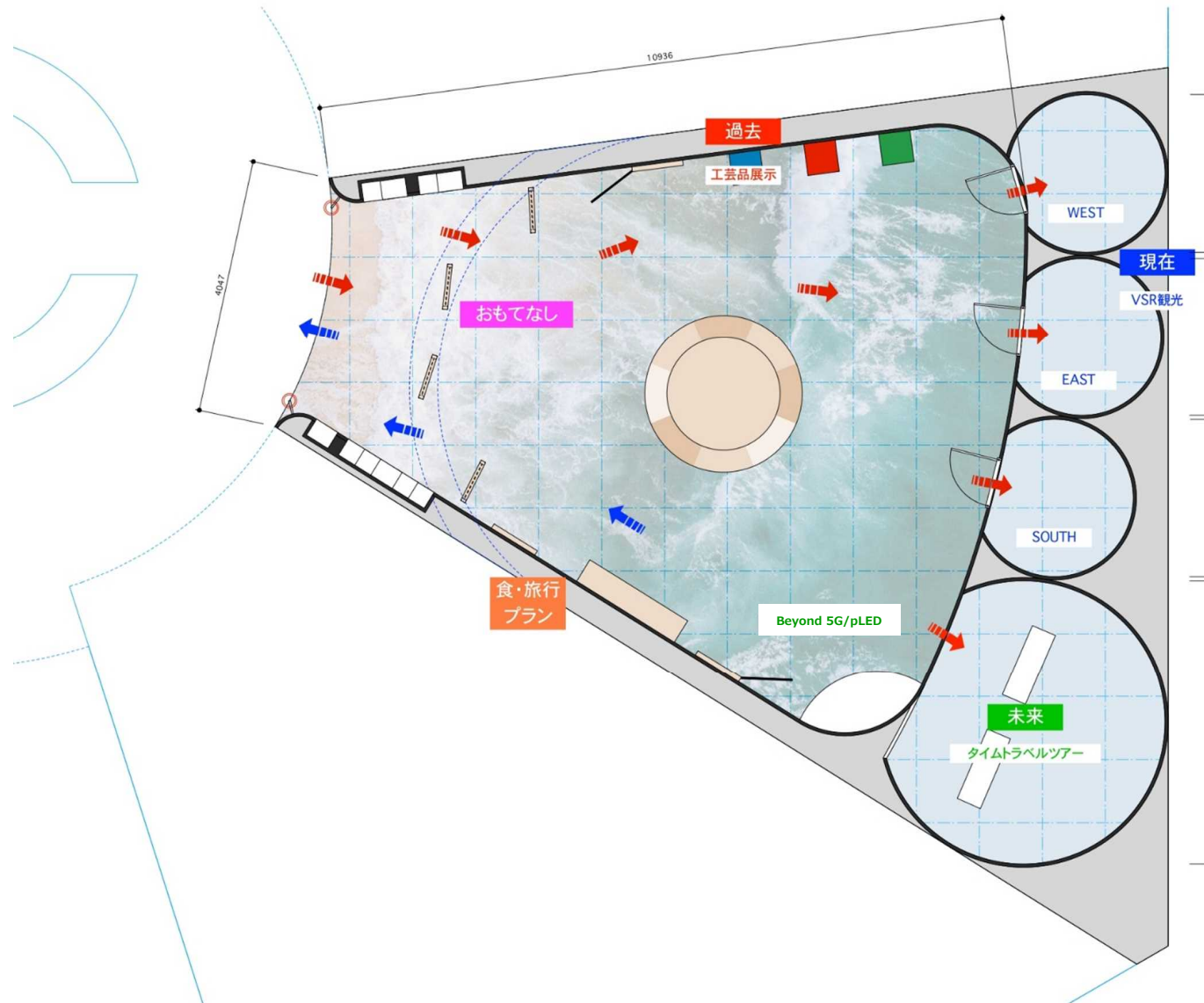


関西パビリオンに参加する府県は、大阪・関西万博の開催地を中心として取り囲むように立地しており、これらを地理的な並びで配置

来場者は、メイン出入口から中央の関西スペースに入り、そこから訪れたい府県の展示スペースに引き込まれるレイアウトとする

Lay out

スペースを一方向で順路を回る動線とし、パーソナライズな体験から複数の方まで体験できる構成



【滞在15分】※エントランス、メインフロアあわせて



➤ ホログラムによるコンセプトワード

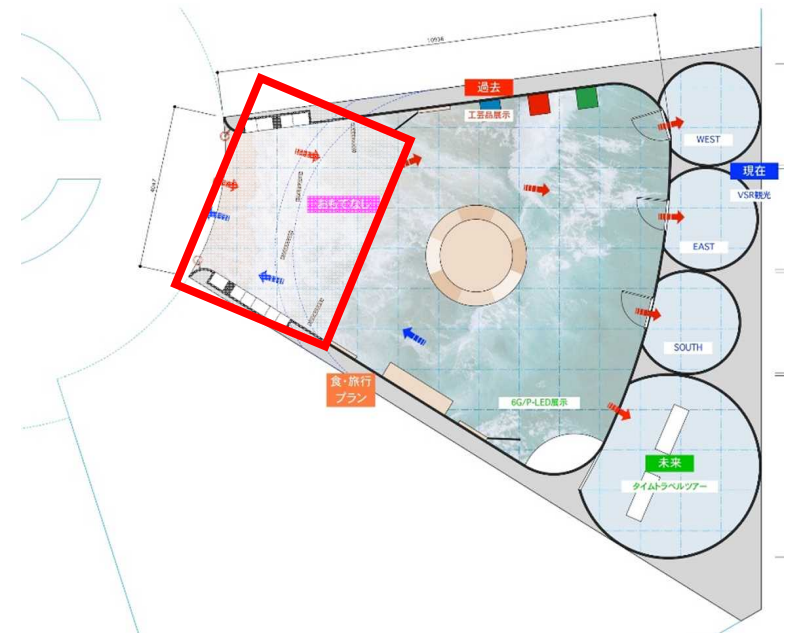
パビリオンのテーマ「GATEWAY ～to Tokushima , to sustainable future」をホログラムで展開

➤ GATEWAYを想起させるドア型モニター

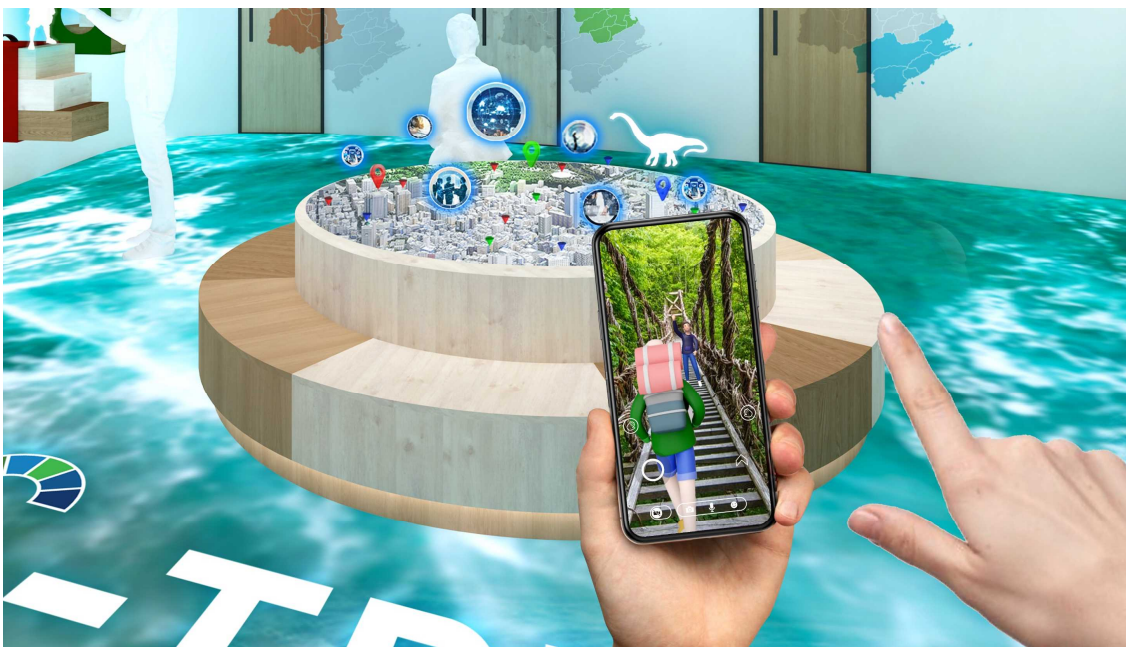
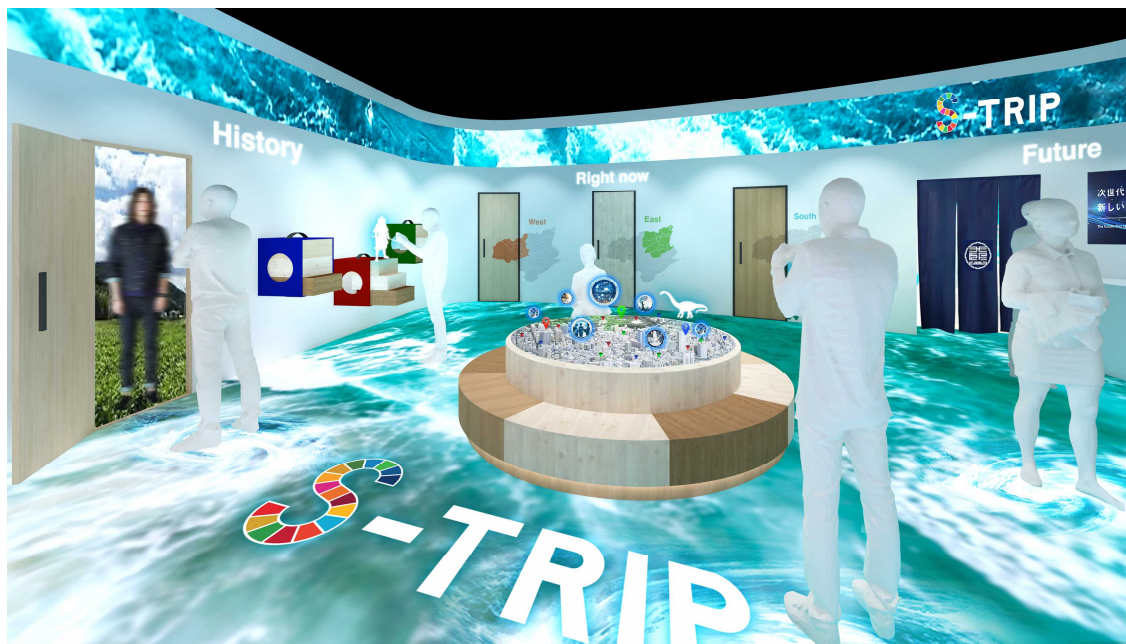
来場者がGATEWAYを想起させる扉を開くことで、透過モニターを通して、阿波おどりや四国遍路の「お接待」に象徴されるおもてなし文化を体感していただくゾーンとして展開

➤ 地域コンテンツPRビジョン

両サイドの壁にビジョンを設置し、工芸品、名産品等の地域コンテンツのPR映像を放映、他エリアと連動し、期間毎に展示替えを実施



【滞在15分】※エントランス、メインフロアあわせて



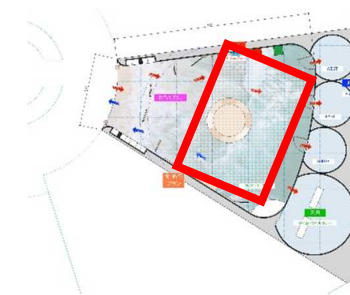
エントランスを抜けると、コンセプトである「S-TRIP」を時系列でコンテンツを展開
来場者に徳島の過去（伝統・歴史）→現在→未来を体感

➤ **徳島伝統文化職人紹介用ドア型モニター**

自然、伝統を守る「人」を等身大でコンタクト出来るコーナーを設置

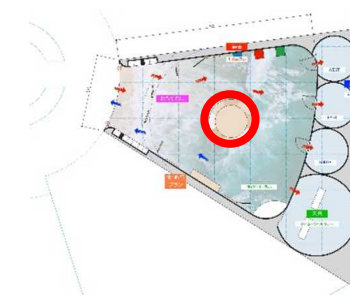
➤ **遊山箱型情報ステーション**

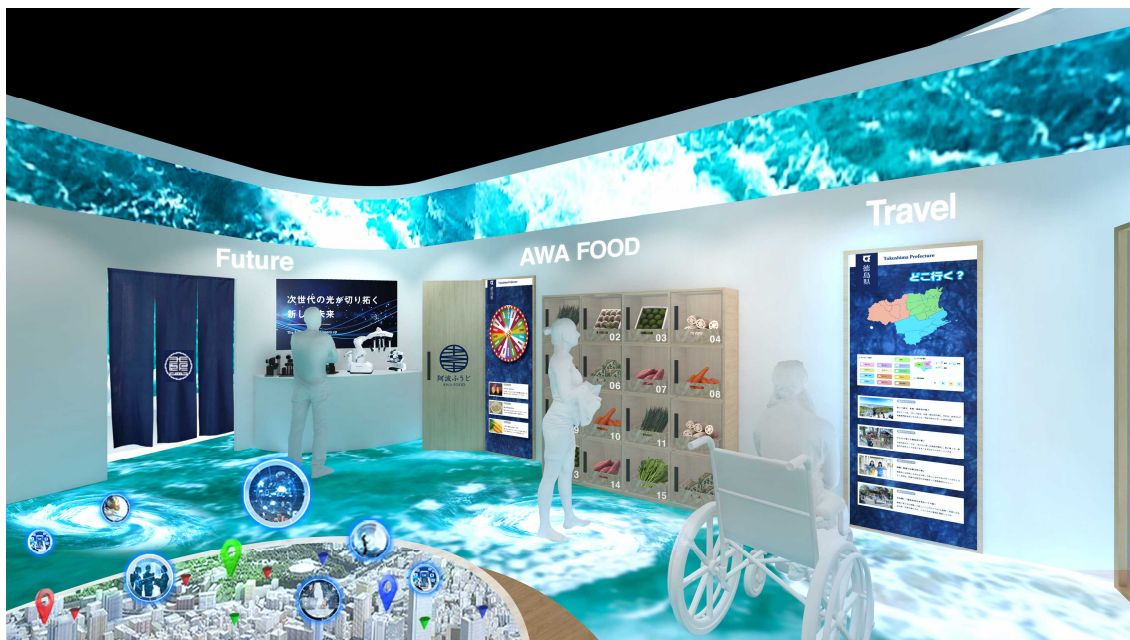
遊山箱の中において、ARの設置やNFTの取得など、来場者自身のデバイスにより「伝統文化」を体感できる情報ステーション



➤ **メタバース活用による市町村等の地域の企画展示**

企画展示エリアにおいては、来場者が自身のデバイスを活用し、メタバース空間上の「徳島デジタルツイン」やARにより、市町村をはじめ地域コンテンツを体感





➤ 「Beyond 5G」の最先端技術を紹介

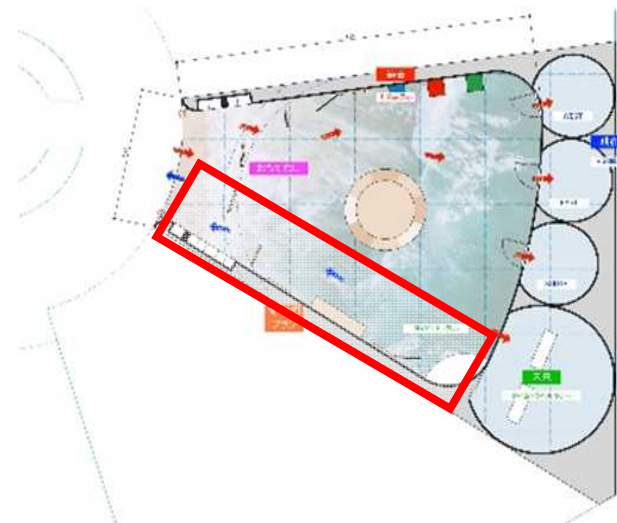
次世代“光”や8Kを活用した遠隔医療など、徳島で先駆的に取り組む技術を展示

➤ 徳島名産食材おもてなしコンテンツ

徳島パビリオンのお土産として、地域の暮らしに裏付けされた旬の農作物等のお接待スペースを設置し、フードツーリズムと連携

➤ 徳島誘客タッチパネル

最後は、徳島パビリオンを疑似体験した後に、徳島県ツアーが可能なコーナーを設置。AI案内の設置など、GATEWAYであるパビリオンを体感いただいた来場者が、最後に実際の徳島の旅をその場で設計

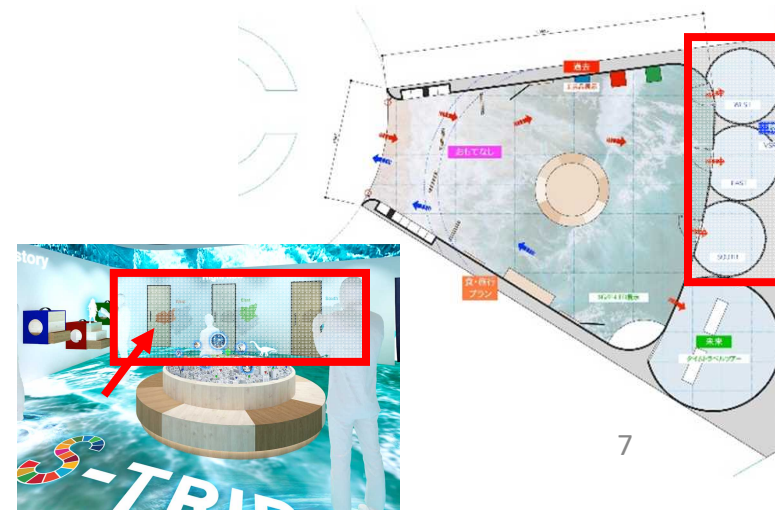
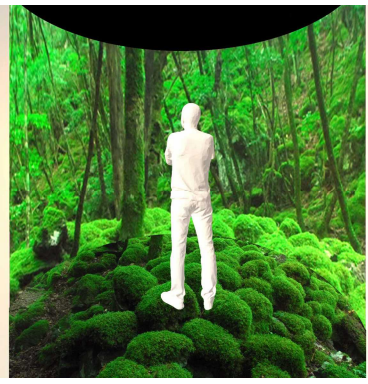
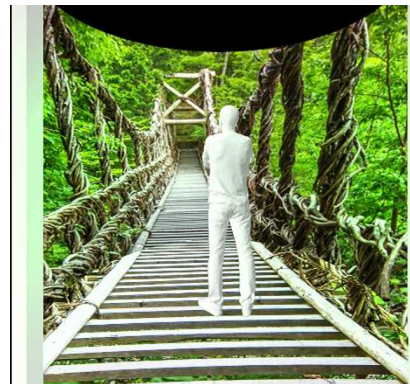


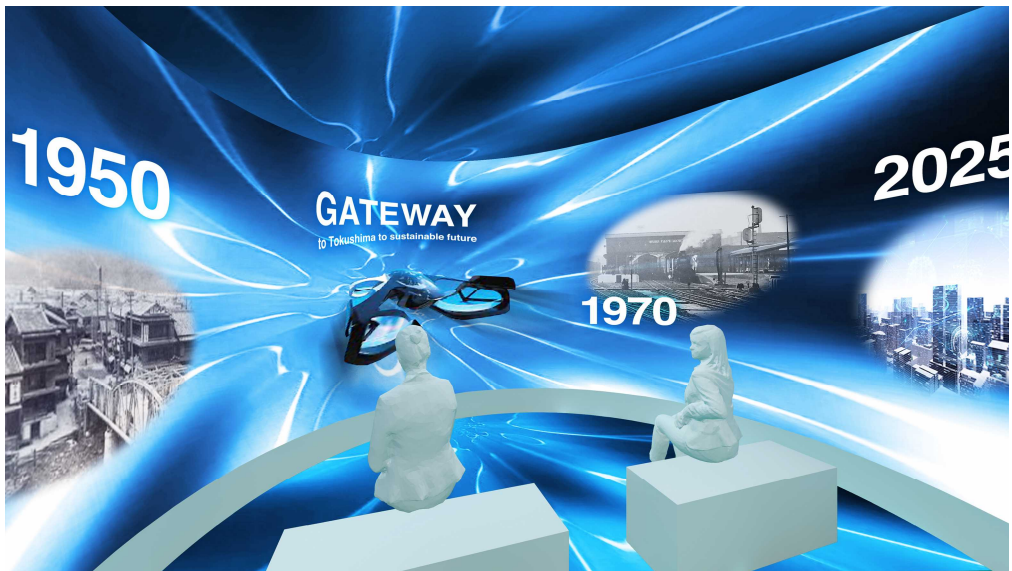
➤ VSR（仮想超解像度）観光

【現在】

県内を「東部」「南部」「西部」の3エリアに分け、
世界初リアルタイムVSRを活用し徳島の「今」を体感できる没入型バーチャル観光を展開

（阿波おどり、渦潮、大塚国際美術館など）





常設展（徳島の“過去・現在・未来”体験）

➤ 360° 8 Kシアター（タイムトラベルツアー）

【過去・現在・未来】

1950年から2025年、SDGs達成目標の2030年を経て、カーボンニュートラルの目標2050年まで、過去から現在、未来技術が活用される徳島の「未来の姿」までをパノラマで紹介。

→通信の未来（pLED・次世代“光”）、農業(食)の未来（コオロギ食、スマート農林水産業）、いのちの未来（遠隔医療）などを映像化
→メインフロアではリアル体験

